

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-103085

⑬ Int. Cl.⁵

D 05 B 55/12

識別記号

庁内整理番号

8826-4L

⑭ 公開 平成3年(1991)10月25日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 針間隔調節式針留

⑯ 実 願 平2-11225

⑰ 出 願 平2(1990)2月6日

⑱ 考 案 者 瀬 戸 洋 二 大阪府大阪市福島区鷺洲5丁目7番2号 ベガサスミシン製造株式会社内

⑲ 考 案 者 山 中 正 巳 大阪府大阪市福島区鷺洲5丁目7番2号 ベガサスミシン製造株式会社内

⑳ 出 願 人 ベガサスミシン製造株式会社 大阪府大阪市福島区鷺洲5丁目7番2号

㉑ 実用新案登録請求の範囲

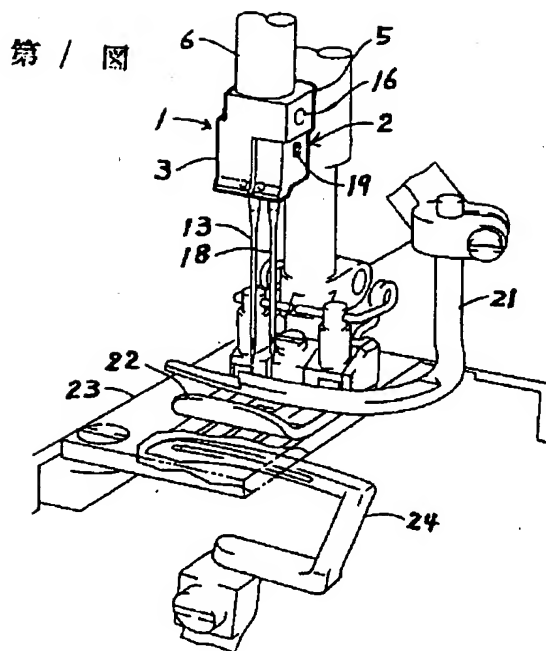
1 上片部と脚部とにより逆L字形に形成した針留本体と、そのL字形枠内に嵌合される補助針留とからなり、針留本体には脚部下面前部寄りに第1の針嵌合孔を開口させるとともに上片部の後部寄りに補助針留軸支孔をその針嵌合孔と平行に設け、補助針留には下面前部寄りに第2の針嵌合孔を開口させるとともに上面後部寄りにその針嵌合孔と平行な軸を突出させて、この軸を針留本体の補助針留軸支孔に回動・固定自在に嵌合するようにしたことを特徴とする針間隔調節式針留。

2 第1項記載の針留本体の軸支孔に代えて軸とし、補助針留上面から突出させた軸に代えてその位置に軸支孔を設け、軸を軸支孔に嵌合するようにした針間隔調節式針留。

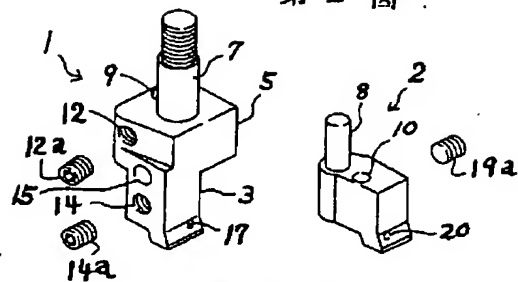
図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例のミシンの縫製部を示す要部斜視図、第2図はその実施例の要部分解斜視図、第3図は要部分解下面図、第4図はその作用を示す下面図である。

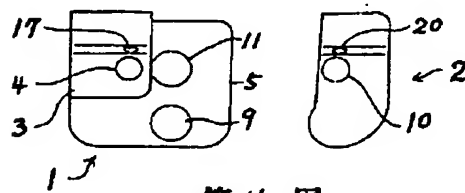
1 ……針留本体、2 ……補助針留、3 ……脚部、5 ……上片部、8 ……軸、9 ……軸支孔、13, 18 ……ミシン針。



第2図



第3図



第4図

